

平成28年10月28日

各 位

上場会社名 五洋インテックス株式会社  
代表者 代表取締役社長 大脇 功嗣  
(コード番号 7519)  
問合せ先責任者 取締役管理部長 小林 光博  
(TEL 0568-76-1050)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年5月12日付当社「平成28年3月期決算短信」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	640	△35	△40	△2.47
今回修正予想(B)	613	△61	△65	△4.01
増減額(B-A)	△27	△26	△25	
増減率(%)	△4.2	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	716	△95	△99	△7.22

- (注)1 前回発表予想の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数16,200,021株に基づいて算出しております。  
2 今回修正予想の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数16,200,014株に基づいて算出しております。  
3 前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数13,852,907株に基づいて算出しております。

修正の理由

第2四半期(累計)の修正理由

景気は、政府の政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、海外景気の下振れリスク、円高や株価低迷、個人消費の伸び悩みなど不透明な状況で推移いたしました。当社を取り巻く事業環境は、室内装飾品関連(カーテン等)市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は増加しておりますが、個人消費の伸び悩みなどで厳しい環境となりました。

売上高は、平成27年8月に新柄を追加した「インハウス」による販売強化を図りましたが、個人消費の伸び悩みが影響し、当初の予想より減少する見込みとなりました。また、利益面におきましては、貸倒引当金繰入額が発生したことで、当初の予想から損失が拡大する見込みとなりました。

通期の見通し

通期の見通しに関しましては、個人消費の伸び悩みのなか、今後、小売業への販売は不透明ではありますが、住宅メーカーへの販売が堅調に推移することが見込まれることから、引き続き「インハウス」新柄による販売及び新たな商品の販売強化を図ることで、収益の拡大を図ってまいります。

以上のことから通期の業績予想につきましては、現在のところ前回予想数値に変更はありません。

(注)この資料に記載しております業績等の予想数値におきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上